

nijiiro

にじいろ

2019 SPRING

2019年4月1日発行(年2回発行)
第31号

理事長挨拶

薬剤師 座談会

～おくすりに込めた思い～

河野病院グループは、2つのデイケア、訪問看護、
小規模作業所、2つのグループホームを併設し、
社会復帰をめざす方を支援しています。

江上統括看護部長の挨拶

日本精神科医学会学術大会 inNAGANO で症例発表

九州精神医療学会 inFUKUOKA で症例発表

改正健康増進法に基づく禁煙化にむけて

私たちは、初めて精神科を訪れた患者様の視点を決して
忘れることなく人権を尊重し「受診して良かった」と
思われる医療を目指します

医療法人済世会 河野病院グループ

『理事長挨拶』



医療法人済世会

理事長 河野 正美

医療法人済世会にじいろ2019年第一号の発行にあたり、法人を代表し一言挨拶申し上げます。平素は我々、河野病院グループをご利用いただき心より感謝致しております。

折に触れ、度々お話ししていることですが、私は精神科を訪れる患者さんの多くは健康的な笑顔を忘れていらつしやると思っております。仮に「笑ってください」とお願いして笑っていただいたとしても、多くは、いわゆる「作り笑い」であるように感じます。心の底からの笑い、言わばHAPPYと形容すべきものには程遠いように感じます。

河野病院グループにお越しいただいた方々に健康的な笑顔を取り戻していただくためには、お迎えする職員、回復をお手伝いするスタッフ自らが健全な笑顔を表すことができなければなりませんと考えています。

これも繰り返し話しておりますが、近年、医療機関を取り巻く環境は極めて厳しい状況です。そして、年々厳しさが増えています。

言わば全国各地の病院自体も不健康な環境におかれている状態です。そんな状況において、如何に職員一同が笑顔を保ち、患者さんをお迎えできるか。これが私たちの大きな課題です。少子高齢化の我が国において、高齢者医療などのニーズは高まるものの、少子化の影響もあって、お世話する働き手は減少の一途にあります。昨年、全国的・多職种的には外国人労働力への依存が報じられているのは皆さま御承知の通りです。

河野病院グループでは、独自の働き方改革を模索し、今年も一層、職場環境の整備に努めて、笑顔で皆様をお迎えできるようにしたいと考えています。具体的には定年後も元気な職員には再雇用制度の適応拡大や非常勤雇用形態の柔軟な対応などです。一方、若い職員の方々には医療資格取得のための進学支援制度や、子育て世代の方には保育園通園支援制度を充実させています。その他にも職員が笑顔になる様々な施策を鋭意検討して行きます。

河野病院グループに来られた患者さんを「笑顔でお迎えし、健康な笑顔を取り戻して、ご家庭や社会に帰っていただく」これが私たちの目標です。

本年も医療法人済世会河野病院グループを宜しくお願い申し上げます。末筆ながら、にじいろをお読みの皆さまの御多幸を祈念いたします。

薬剤師座談会

～おくすりに込めた思い～

進行：座談会も3回目となり、今回は各病院の薬剤師さんに集まって頂きました。薬剤師の立場から、患者さんのケアについてお聞きしたいと思います。まずは、精神科で処方するお薬についてお聞きします。他の、例えば内科とは違うものでしょうか？

藤井：我々が提供するお薬は、患者さんが良くなるようにとすることのお手伝いが前提です。内科などでは、例えば血圧だとか、数値でもつ薬の処方が可能です。精神科の場合は、患者さんの状態を数値化など客観的に捉えるものがなく、問診などを中心にお薬を処方することになります。

堀内：例えば、医師の前では元気を演じる患者さんもいるので、処方されたお薬をお渡しするときに患者さんと話をすると「あれ、ちよつと違うかな？」と感ずることがあります。

進行：そんな時は、どうするのですか？

堀内：医師に相談することになりますが、頓服などもお勧めします。またアドバイスも大事です。「きつづく、つらくなる前に飲んでくださいいね」とか。

藤井：痛み止めは、痛みがでてから飲むのではなく、痛みそうだと思ったときに飲んだほうが良いと言っていると一緒です。

佐々木：まずは患者さんの状態が緩和する・落ち着くためにお薬を使ってもらうことです。

進行：薬剤師と患者さんのコミュニケーションも大事なんですね。ところで、現在、どの位の数のお薬を管理されているのですか？

藤井：現在流通しているお薬の種類は20,000種と言われていますが、河野名島病院では、そのうちの560種類程度です。

堀内：河野病院は、400種類程度。

佐々木：河野柏屋病院は、500種類程度です。

進行：20,000と比べると少なく見えますが、それでもかなりの数ですよ。これらのお薬について、特徴などを把握し、さらに新しい情報を仕入れていくわけですよね？

佐々木：もちろんそうですが、病院で扱っていないお薬の情報も必要ですし、むしろそちらの方が大変かもしれません。

堀内：他の病院を受診している患者さんが服用しているお薬についても知っておく必要があります。

進行：おくすり手帳がありますね・・・さらに漢方なども扱うわけでしょう？

佐々木：西洋医学の場合、比較的容易に病名とくすりを対で考えることが可能です。しかし漢方の場合、その症状に合った漢方薬を探したり、組み合わせる必要があります。漢方薬も2,000種類ありますから。ただ、お薬を処方するのは医師なので、漢方を使用するかは、医師の判断になります。

進行：河野病院では、職員向けに漢方の院内研修会をやりましたよね？

堀内：はい、一番患者さんに接しているのは看護師です。看護師にとっても、何か参考になるのではないかと思います。ただし、紹介しているのはあくまでもポピュラーな物だけです。

進行：お薬についての情報収集は・・・

藤井：メーカーや業者さんからの情報もありますが、やはり研修会や講習会などが一番ためになります。患者さんにとって安全であり、かつ病院にとってもメリットがあるものを使っていかなければなりません。

進行：新薬については・・・

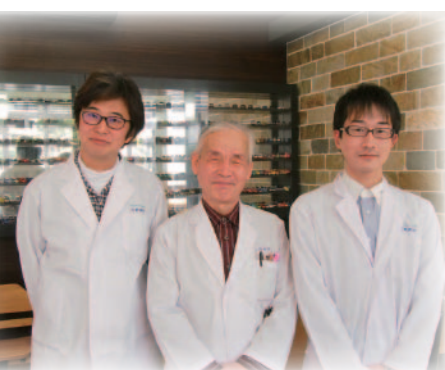
佐々木：発売後すぐに使うことはあまりありません。医師の処方により、新薬を使うケースでも、これまで使っているお薬と併用しながら傾向をみるという感じですね。

進行：最後にお薬を提供するにあたり、思いなどがあれば教えてください。

佐々木：繰り返しになりますが、お薬で患者さんのがんばりをサポートできればと思います。

堀内：くすりを反対から読めばリスクになります。リスクをきちんと考えて提供していきたいですね。

藤井：お薬をきちんと使用しながらも、使用量は少なくなっていければと考えています。



※今回の座談会は、三三三（へいかり）をお借りしました。

右から
河野柏屋病院 河野名島病院 河野名島病院 藤井薬剤師 河野病院 堀内薬剤師

河野病院グループは、患者さんとご家族が笑顔を取り戻せるように努力しています。

訪問看護ステーション パラソル



訪問看護の事務所は、河野名島病院の敷地内にあり、ここから東は飯塚・嘉麻市、西は糸島市、南は那珂川市、北は宗像市と広い範囲の利用者のお宅を訪問し、利用者の精神面や心理状態のケア・相談、日常生活・身の回りのケアや支援を行っています。病院に入院されている場合、患者さんは病院環境のなかで生活をしています。睡眠や食事の量、くすりの服用などは病院の管理下にあります。しかし訪問看護になると、利用者の生活環境に我々がお邪魔します。呼称も「患者」から「利用者」と変るように、我々の接し方・関わり方もずいぶん変化します。短い時間の中で、食事や睡眠、くすりの服用状況をはじめ、如何に利用者の状態を把握するか？ そのために表情や言動のみでなく、何気ない会話や、生活空間の小さな変化も見逃さないように心がけています。また複数名で訪問し、より広い視野で観察、意見を交換しながら、利用者に適した看護・支援に取り組んでいます。利用者の生活環境を取り巻く地域福祉やかかりつけ病院と協力・連携しつつ、利用者が地域社会のなかで生活できるようにサポートしています。

河野病院 デイケアセンター にじいろ

利用者に、デイケアを予定どおり利用していただくことが社会復帰の第一歩とかがえています。利用者がデイケアを利用すること自体がストレスにならないように利用者との距離感を大事にしています。デイケアでの過ごし方も利用者それぞれです。離れすぎず・近寄りすぎず、それぞれの日々の様子や体調を注意深く観察し活動計画に反映しています。利用者のペースを守ることや場の雰囲気作りも重要です。とにかく負のイメージを持ち帰って貰わないことを心掛け次回も元気に明るくデイケアを利用してもらうことを考えています。デイケアを就労訓練の場と考えている人もいれば、デイケアを利用することだけが、目的の方もいます。それらの方が同一空間・環境で生活する事自体が、訓練でもありリハビリでもあります。利用者が自発的に活動に参加できるように、活動計画には利用者の意見や希望を取り入れるようにし、常に明るく、前向きな空間になるように努力しています。

地域連携室や医師・外来とも情報交換を密にして、利用者各々の社会復帰をサポートしています。

河野病院グループは、2つのデイケア、訪問看護、 小規模作業所、2つのグループホームを併設し、 社会復帰をめざす方を支援しています。

名島病院 デイケアセンター どリーむ



社会復帰の目標や目的は、利用者毎で異なります。デイケアセンターどリーむでは利用者の目標・目的に応じた社会復帰ができるように、活動計画を練っています。特に、利用者それぞれの内面のリソースを育てることを考えています。利用者の隠れてはいるが得意なことを掘り出し、それを社会復帰の力にしていくことです。そうすることで、苦手としていることも緩和できればと考えています。また、社会復帰のためには体力の維持や向上ということも欠かせないので、リハビリ的な要素も必要です。一見繰り返しの活動計画に見えますが、利用者がもう少しがんばれるポイントを探しながら、そして継続できるように取り組んでいます。我々も利用者の成長にふれられる楽しさ・喜びを感じています。

小規模作業所 にじいろベーカリー



社会復帰を目指す精神障害者の方の支援として、河野名島病院の敷地内にイートインスペースを持ったベーカリーを作業所として開設し12年目を迎えます。パンの販売や喫茶での接客、店内外の清掃などを通じて、デイケアなどの活動よりも、一步先の訓練を提供しています。利用者の希望に沿うような勤務形態を考えるとともに、病院敷地内にあることで、精神保健福祉士をはじめ病院スタッフが利用者の体調や状況を配慮した運営を行っています。店舗は病院敷地内にありますが、入り口は通りにも面しているため、一般のお客様もご自由にお入り頂けます。また「こども110番のいえ」として、地域の防犯にも協力しています。焼きたてパンは定番、新作あわせて20数種類を提供しています。店舗だけではなく、篠栗の河野病院、宇美の河野粕屋病院、福岡市東区内の保健所や療育センターなどにも日替わりで訪問販売しています。また名島病院の入院患者さんの憩いの場としても一役買っています。



日本精神科医学会学術大会 inNAGANO で症例発表

平成30年10月4日から2日間、長野市で開催された、第7回日本精神科医学会学術大会で、河野病院・河野名島病院・河野粕屋病院が症例を発表しました。

河野粕屋病院
高齢の両親の元に戻る我儘な患者の支援
 ~交換ノートを通しての成長~
 宮本 (Ns)

40代の統合失調症の女性患者とNsが交換ノートを用いて人や家族との接し方、日々の過ごし方など、患者と交流を深めながら生活改善や家族支援に繋げ、退院に至る過程を報告しました。

河野名島病院
腸内環境のバランス改善は便秘解消に有効か?
 樋崎 (Ns)

薬物や高齢化による筋力低下による慢性の便秘状態にある患者に対し、腸内細菌バランスの改善を目的に、オリゴ糖の摂取を試した。結果、慢性便秘の改善がみられたため、その取り組みを報告しました。

河野病院
初めての転棟は、新入院患者と同様な関わりを行うべし
 ~異動してきたナースの一言から~
 島 (Ns)、青木 (Ns)

閉鎖病棟時できていたADLが、開放病棟に転棟後できなくなっていることを、病棟を異動したNsにより問題提議された。その要因が患者と関わる中で、あきらかになったので、取り組みを報告しました。



江上統括看護部長の挨拶



医療法人 済世会
 統括看護部長 江上幸恵

平成30年11月より統括看護部長として勤務させていただいております。精神科は看護学生時代の実習しか経験しておりません。管理者としての経験は積んでいるつもりですが、今は病院に慣れることと、河野病院グループの看護部の把握に努めております。医療界も急速に進む少子高齢化で、介護・医療必要度の高い患者さんの増加、人口減少による人材確保の困難など医療施策問題が当院にも押し寄せています。2025年問題で、自宅・施設への退院が推進され診療報酬上にも反映されています。精神科の患者さんはなかなか在宅・施設も現状では難しいようですが、精神保健医療福祉問題として、精神障害者の地域移行・地域定着支援などを推し進めているようですが、グループホームなどの充実が望まれるところでです。

当院としては、「良質で安全」な医療を提供することはもちろんのこと、病院理念にあるように、「患者さんの視点を決して忘れることなく、人権を尊重し、患者さん中心の看護」ができるように、看護部としても努力していきたいと思っております。

九州精神医療学会 inFUKUOKA で症例発表

平成31年1月31日から2日間、福岡国際会議場で開催された第64回九州精神医療学会で、河野病院・河野名島病院・河野粕屋病院が、それぞれ症例発表を行いました。

河野名島病院
 ~みんなが参加したい作業療法をめざして~
 後藤 (Ns)、堺 (Ns)

作業療法は、精神科における治療の一つとして重要です。より多くの患者が作業療法に興味を持ち、より多くの患者に参加してもらうにはどうすべきかを患者・スタッフを交えて検討・実施した結果、患者の表情や言動にも変化が見られた事例を紹介しました。

~さあーみんなで一緒に歩きましょう!~
河野粕屋病院
 歩行訓練がもたらした効果とADL改善にむけて
 樋崎 (Ns)、金丸 (Ns)、田中 (Ns)、猿渡 (Ns)、田中 (Pt)

長期入院・新規入院に限らず患者の高齢化に伴いADLが低下し、転倒リスクも増加しています。ADLを維持しつつ、患者に「安心・安全・安楽」な生活を提供するため必要なサポートについて検討・実践し、そこで得られた結果について紹介しました。

業務改善への取り組み
河野病院
 ~ゆとりがもてる職場環境を目指して~
 中山主任 (Ns)、渡部 (Ns)

ADLに介助が必要な患者が増えることでその他の患者からナースとの関わりが薄くなってきているとの声が上がってきた。職員の意識改革や業務・職場環境の改善に取り組むことで、時間だけでなく心にもゆとりを生み出し、そこで生まれたゆとりを、患者さんとの関わり改善に繋げる取り組みを紹介しました。

改正健康増進法に基づく禁煙化に向けて



受動喫煙対策を強化する改正健康増進法が2019年7月1日に施行され、病院では屋内全面禁煙が義務づけられます。河野病院グループでは、昨年の5月に、禁煙化の取組を開始し、職員には禁煙を勧めると共に、病院敷地内での禁煙エリアを段階的に拡大してきました。昨年末には、敷地内においては屋内外を問わず、職員は全面禁煙に至りました。患者さんや施設利用者にも、理解を得ながら屋外も含めた病院施設内での全面禁煙を目指します。

~ 診療案内 ~

河野病院
 受付時間
 午前 9:00 ~ 12:00 午後 13:30 ~ 17:00
 初めて受診される方は事前に電話予約の上、
 午前は11:30、午後は16:00までに受付をお願いします。
 ※1 土曜日は午前のみ受診相談を受け付けております。
 ※2 午後のみ (電話でご確認ください。)

	月	火	水	木	金	土
精神科・神経精神科・心療内科	●	●	●	●	●	※1
内科				※2		
歯科・口腔外科	●		●	●	●	

河野粕屋病院
 受付時間
 午前 9:00 ~ 12:00 午後 13:30 ~ 16:00
 初めて受診される方は午前は11:00、午後は15:30までに
 受付をお願いします。
 ※1 水曜日の午前中は、院長回診のため原則休診です。 ※2 午前のみ

	月	火	水	木	金	土
精神科・心療内科・老年精神科	●	●	※1	●	●	※2
内科	●	●	※1	●	●	

河野名島病院
 受付時間
 午前 9:00 ~ 12:00 午後 13:30 ~ 17:00
 外来は原則午前中のみです。
 新患の方は事前に電話予約をとってください。
 ※1 午前のみ

	月	火	水	木	金	土
精神科・心療内科・老年精神科	●	●	●	●	●	※1
内科	●	●		※1	●	※1
皮膚科					※1	

外来患者様、入院患者様のご家族を対象に送迎バスを運行しています。乗車を希望される方は、事前に氏名・日付・場所・時間を当院までご連絡下さい。 TEL (092) 932-7300

河野粕屋病院 送迎バス運行表(平日・土曜日・休日)

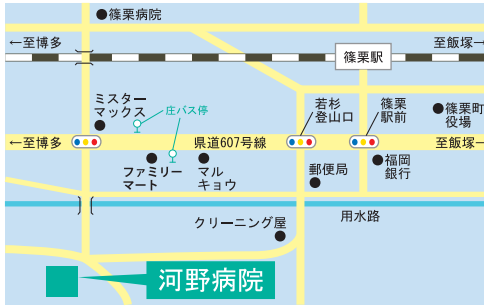
	病院発	JR宇美駅	下宇美口	深町バス停	東志免	志免体育館	JR須恵中央駅	病院着
1便	9:45	9:55	10:15	10:17			10:30	10:40
2便	11:45	11:55	12:15	12:17	12:20	12:25	12:35	12:45
3便	13:05	13:15	13:35	13:17	13:40	13:45	13:55	14:05
4便	14:45	14:55	15:15	15:17			15:25	15:35
5便	16:10	16:20	16:30	16:32			16:45	16:55

5便は病院への送りのみとなります。
 外来受診・ご面会でのご利用の場合は帰りの便がありませんのでご注意ください。

医療法人済世会 グループ施設案内

河野病院

診療科：精神科・歯科
 平日 / 9:00 -17:30 土曜日 / 9:00-12:30
 日祝日休診（歯科：土曜日休診）
 病床数：140床
 ※デイケア「にじいろ」併設



〒811-2413
 福岡県糟屋郡篠栗町尾仲 139
 TEL (092) 947-0611 (代) FAX (092) 947-8598
<https://www.kawano-hp.com/kawano/>
 e-mail : info@kawano-hp.com

河野粕屋病院

診療科：精神科
 平日 / 9:00 -17:30 土曜日 / 9:00-12:30
 日祝日休診
 病床数：225床



〒811-2129
 福岡県糟屋郡宇美町神武原 6丁目 1-1
 TEL (092) 932-7300 (代) FAX (092) 933-3138
<https://www.kawano-hp.com/kasuya/>
 e-mail : kawanokasuya@kawano-hp.com

河野名島病院

診療科：精神科
 平日 / 9:00 -17:30 土曜日 / 9:00-12:30
 日祝日休診
 病床数：179床
 ※デイケア「どリーむ」併設



〒813-0043
 福岡市東区名島 4丁目 28-53
 TEL (092) 681-5231 (代) FAX (092) 672-1525
<https://www.kawano-hp.com/najima/>
 e-mail : kawanonajima@kawano-hp.com

特定非営利活動法人にじいろ福祉会 小規模作業所 にじいろベーカリー

営業時間：14:30 - 17:00 定休日：土・日・祝日
 河野名島病院敷地内
 TEL/FAX (092) 672-2416
<http://2416-bakery.jugem.jp/>
 e-mail : nijjiro-bakery@kawano-hp.com

訪問看護ステーションパラソル

河野名島病院敷地内
 TEL (092) 661-7444

精神障害者グループホーム

白百合荘（男性）福岡市東区
 河桜荘（男性）糟屋郡篠栗町

職員募集中

募集職種：看護師, 准看護師, 看護助手(パート), 調理師, 調理師補助(パート)
 勤務地：ご相談の上
 詳細はホームページまたは以下にお問い合わせ下さい

医療法人済世会 本部 採用担当 原・植崎
 〒811-2413 福岡県糟屋郡篠栗町大字尾仲 139
 TEL : (092) 947-0611 HP : <https://www.kawano-hp.com>